



リハビリ専門職による出前講座

実際の活用例

一般社団法人
滋賀県介護老人保健施設協会

～ 施設全体 編 ～

要望

体格差がある時の体位変換や移乗、発語を促す口腔体操、腰痛予防について知りたい。

特別養護老人ホーム

支援(指導)内容

- ・姿勢の変化による力学的相互作用を活用した移乗介助
- ・実際の施設職員の動作(従来の方法)とボディメカニクスを取り入れた方法を比較検討
- ・Zoomを活用し、講義と演習を繰り返し実施

受講後の感想

- ・動画を使っでの細かな説明は目からウロコだった。
- ・基礎知識はあるが、知識を習得し周知することで現場の環境改善につながる糸口となった。

要望

バーセルインデックスに関する知識が不十分。専門職による指導を受けたい。

デイサービス

支援(指導)内容

- ・Barthel IndexとFIMの違いについて(Webにて座学)

受講後の感想

- ・Barthel Indexの基本的な考え方を分かりやすく説明して頂き、理解できた。
- ・FIMの概略やICFの考え方も参考になった。

要望

初めてPT職員が入職するが、指導できる者がいない。

特別養護老人ホーム

支援(指導)内容 ※新人PT職員に

- ・該当施設で多く見られる事例についての、対策や予防法
- ・ベッドでの食事対応の注意点や移乗介助方法
- ・トランスファーボードの使用 ・多職種へ伝達すべき事項
- ・機能訓練難渋例への介入方法
- ・理学療法の評価、考え方やプログラム立案

受講後の感想

- ・経験が浅いうえに職場ではPTが1名のため、自分の判断が正しいか不安だった。指導頂き、自分の知識や判断が間違っていないことを認識できた。
- ・今後、他の職員と連携をとりながら信頼を得ていきたい。

要望

福祉用具の使い方や現場で実践できるノーリフトケアなど、利用者それぞれに合ったケアの方法を知りたい。

小規模多機能型ホーム

支援(指導)内容

- ・ベッド上での除圧の必要性と方法、ポジショニング
- ・個別リハビリと生活リハビリの違い
- ・FIM(Functional Independence Measure)とBI(Barthel Index)について
- ・シーティング
- ・車いすの選定による褥瘡防止

受講後の感想

- ・実際の姿勢を体験することで、体への負担が理解できた。
- ・リハビリの違いがよく理解できた。
- ・評価の視点が抜けていたので、今後考えていきたい。
- ・聞くだけではなく体験することで、理解が深まった。

要望

認知症の方が、安全に安心して暮らす方法を学びたい。

小規模多機能型居宅介護サービス

支援(指導)内容

- ・介護の専門性
- ・認知行動理論
- ・ロジカルケア
- ・利用者の意欲を引き出し、生活を一緒に作る方法

受講後の感想

- ・介護職としての日々の行動を見直す機会となった。
- ・介護者の関わり次第で利用者が受け身脳・自発脳・工夫脳と変化し、心身機能の維持・向上につながるということがよく分かった。
- ・ケアの捉え方が変わった。
- ・学んだ取り組み方法を、今後利用者一人一人にあてはめて実践し、成果を上げていきたい。

要望

変化に対応できる機能訓練内容を充実させたい。
時間がかかりすぎている計画書の作成方法を知りたい。

デイサービス

支援(指導)内容

- ・リハビリメニューの提案
- ・福祉用具の選び方や考え方
- ・機能訓練の考え方
- ・ケアプランに向けた取り組みの具体的な対応
- ・集団体操のレポートリー
- ・リハ専門職からの指導を反映した体操
- ・人員不足で個別対応が困難な場合に有効な、集団体操のポイント

受講後の感想

- ・実際に動作を見ることで悩み解決の糸口をつかめた。
- ・PTの視点は学ぶことが多い。これを機に自分の知識を深めたい。
- ・継続して利用者の訓練を見てもらうことで、介助のポイントを確認でき、利用者の状態を多職種でみることができた。
- ・専門的な知識と根拠を持って訓練方法を組み立てることができ、利用者、訓練士双方に最適な訓練ができるようになった。

利用者
～ 個別対応 編 ～

要望

転倒が多い片麻痺の方への対応を学びたい。
(介助方法、環境整備など)

グループホーム

支援(指導)内容

- ・実際の利用者(脳梗塞や大転子部骨折)それぞれに合った動作・姿勢
- ・職員の立ち位置、介助における体の使い方
- ・福祉用具の紹介(スライディングボード、リクライニング車いす)

受講後の感想

- ・介助方法以外でも日常生活で取り入れる事のアドバイスを頂けた。
- ・スライディングボードの使用で職員の腰痛予防につながった。
- ・福祉用具の実際の使い方を見せて頂き、理解できた。
- ・指導して頂いたことを実践し、次の回で評価してもらうことで内容をしっかり理解することができ、活用できた。
- ・他の利用者についても今後相談したい。

要望

要介護4、車いす(チルト)利用、円背、肩・股関節硬縮のある方の機能訓練、口腔ケアを知りたい。

小規模多機能型ホーム

支援(指導)内容

- ・頸部が屈曲していて食事介助が難しくなっている方に対する介助方法、機能訓練方法
- ・集団体操の提案
- ・移乗介助、シーティング、ポジショニングのアドバイス

受講後の感想

- ・教えて頂いたことを実行した。大変役に立った。
- ・多くの新しい知識、最新の考え方を教えて頂き参考になった。
- ・専門職から医学的・科学的に指導頂き大変参考になった。
- ・動き一つ一つを解説して頂き、分かりやすかった。